

発行者	兵庫県農業共済組合宍粟事務所	(0790) 60-3004
連絡先	龍野農業改良普及センター	(0791) 63-5174
	宍粟市 農業振興課	(0790) 63-3109
	兵庫西農業協同組合	
	しそう営農生活センター	(0790) 62-6617

令和6年

水稻病虫害防除情報

第3号（8月26日発行）

1 水稻の生育状況・病虫害発生状況

向こう1ヶ月の天気（8/17）は、平均気温の高い確率が80%と見込まれています。降水量については、ほぼ平年並みと予想されています（1か月予報 大阪管区気象台 8月15日発表）。水稻の生育は、草丈は平年並、茎数は多目で推移しています。

▶農業技術センターにおける生育調査結果

品種（調査地点）	調査日	草丈（平年比）	茎数（平年比）	主稈葉数（平年差）	移植日
きぬむすめ（加西市）	8/15	87cm(100%)	457本/m ² (115%)	16.2(+0.8)	6/14
ヒノヒカリ（加西市）	8/15	85cm(102%)	466本/m ² (113%)	15.8(+0.6)	6/14

▶病虫害調査結果（8月22日調査）南部地区

病虫害名	調査結果の概要
いもち病	一部で病斑が見られました。
紋枯病	一部で病斑が見られました。
縞葉枯病	今回の調査では確認されていません。
ウンカ類	各地で発生しています。 ・「トビロウカの確認はされていません。」
ツマグロヨコバイ	一部で発生が確認されました。
カメムシ類	一部で発生が確認されました。

2 調査結果詳細

令和6年度 第3回

水稻病虫害発生状況調査 結果一覧表

調査日:令和6年8月22日 天候:晴

調査地区名	作付品種	田植日	病害（抽出25株中の発病株数）								害虫発生状況					その他 箱施用剤 有・無
			葉いもち		穂いもち		紋枯病		縞葉枯病		ツマグロヨコバイ	ヒトビウンカ	セジロウンカ	トビロウカ	カメムシ	
			発病株数	発生程度	発病株数	発生程度	発病株数	発生程度	発病株数	発生程度	発生程度	発生程度	発生程度	発生程度	発生程度	
中比地	ヒノヒカリ	6/1	5株	少									少		少	有
矢原	兵庫夢錦	5/24					8株	少					少	少	少	有
宇野	キヌヒカリ	5/13	2株	少								少	少	少	少	有
青木	きぬむすめ	6/9	21株	少								少				有
葛根	コシヒカリ	5/19	6株	少								少	少			有
西深	コシヒカリ	5/18					5株	少					少	少	少	有
杉田	コシヒカリ	5/11										中	少			有
谷	コシヒカリ	5/10	6株	少								少	少			有
西山	コシヒカリ	5/11	1株	少								中	少		少	有

※ 発生程度は、無、少、中、多、甚の5段階評価です。

（病気の発生程度は病斑の進行具合により評価しています。）

3 病虫害について

●いもち病

葉いもちが上位葉へ伸展すると、穂いもちの発生が懸念されますので、いもち病が発生していないかを確認して下さい。発生している場合は、栽培ごよみ等を参考に速やかに防除を実施しましょう。

●紋枯病

今回の調査では、発生が確認されました。

紋枯病は、30℃前後の気温と株内の高湿度が感染の最適条件です。特に、例年発生しているほ場や過繁茂のほ場では畔際の株元等を注意深く観察しましょう。

●トビイロウンカ（秋ウンカ）

収穫前に坪枯れを引き起こすトビイロウンカの発生は確認されませんでした。兵庫県病害虫防除所の調査では平年より早い時期から発生が確認されております。トビイロウンカの増殖を見逃さないように、こまめに株元を中心に見回り、適期防除を心がけましょう。

●斑点米カメムシ類

今回の調査で、カメムシ類の発生が確認されました。兵庫県病害虫防除所の予報でも、例年に比べやや多いと予想されてます。カメムシが多いほ場では、不稔対策として出穂から穂揃期に、斑点米対策として出穂後10～15日に防除しましょう。イネカメムシが多い場合は、出穂直前もしくは直後と、その7～14日後の2回防除が有効です。



クモヒカメムシ



ホソハラカメムシ



アカシカメムシ



トゲシラホシカメムシ

4 有効な薬剤等と今後の管理

(1) 臨機防除

- ・カメムシ類：多発地域は、出穂後5～10日頃に防除してください。

病害虫	薬剤名	使用基準
ウンカ類	トレボン粉剤DL	収穫7日前まで。3回まで。
カメムシ類	又はスタークル粒剤	

※薬剤は使用量等登録内容の確認を十分行い、適切にご使用ください。

※薬剤に関する詳細は、龍野農業改良普及センター、JA兵庫西しそ営農生活センターまでお問い合わせください。

(2) その他

- ・コシヒカリ、キヌヒカリ等極早生品種の収穫は、刈り取り適期幅が短いので、刈り遅れないように注意しましょう。
- ・倒伏し、穂が地面に着いている場合は、穂発芽の恐れがあるため、できるだけ起すようにしてください。
- ・早期落水による田面の過乾燥は、登熟不足や胴割れ米、乳白米の原因となりますので、刈り取りの7～10日前まで適度な湿りを保ちましょう。

(3) 台風襲来に対する事前対策

- ・排水溝の詰まり等の点検・補修を行い、冠浸水時の速やかな排水に備えましょう。
- ・強風による青枯れ症状、倒伏や稲穂の振動等を軽減するため深水管理に努めましょう。

農薬の飛散防止に努めましょう。作業中の熱中症対策を忘れずに！